

鉄道開業150周年記念事業
初代鉄道助 佐藤政養

講演会

『佐藤政養とその時代』 書き終えて思うこと ～海舟、龍馬と鉄道と～

令和4年

木

入場無料

10月13日

事前申込必要
詳細は裏面にて

16:00～17:30 (15:30より開場)

遊佐町生涯学習センター

2階大会議室 (遊佐町遊佐字鶴田52-2)



【講師】

増田 恒男氏

『佐藤政養とその時代』著者
前・司馬遼太郎記念館学芸部長
(公財)大倉精神文化研究所客員研究員

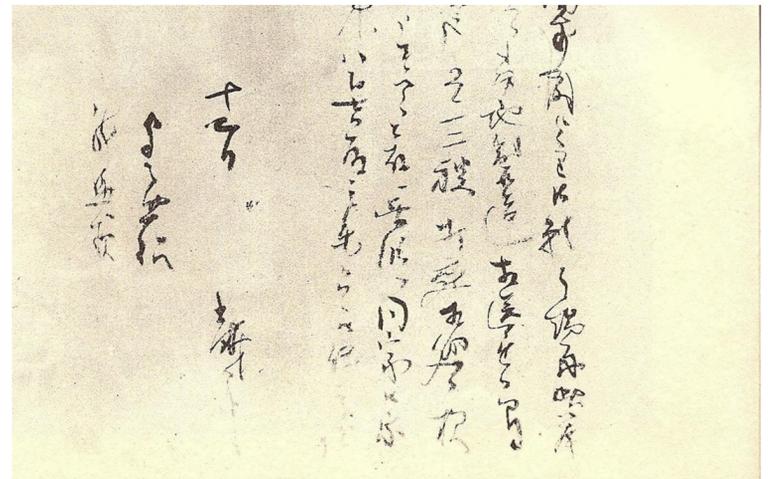
【定員】
50名程度
先着順
【申込締切】
10/7 (金)



佐藤政養

文政4年(1821)～明治10年(1877)

佐藤政養は、出羽国遊佐升川の農家に生まれ、33歳で江戸に出てからは、勝海舟の塾頭となりました。幕末から明治にかけて、特に勝海舟の代理となり、坂本龍馬など土佐浪士たちの指導を行いました。明治時代には鉄道の敷設に尽力するなど、日本の近代化の礎を築いた一人といえます。



勝海舟から政養と龍馬に宛てた書簡

【主催】佐藤政養先生顕彰会

【問・申込先】佐藤政養先生顕彰会事務局 (遊佐町役場企画課企画係内)

TEL 0234-72-4523 FAX0234-72-3315 メールkikaku@town.yuza.lg.jp

— 書籍紹介 —

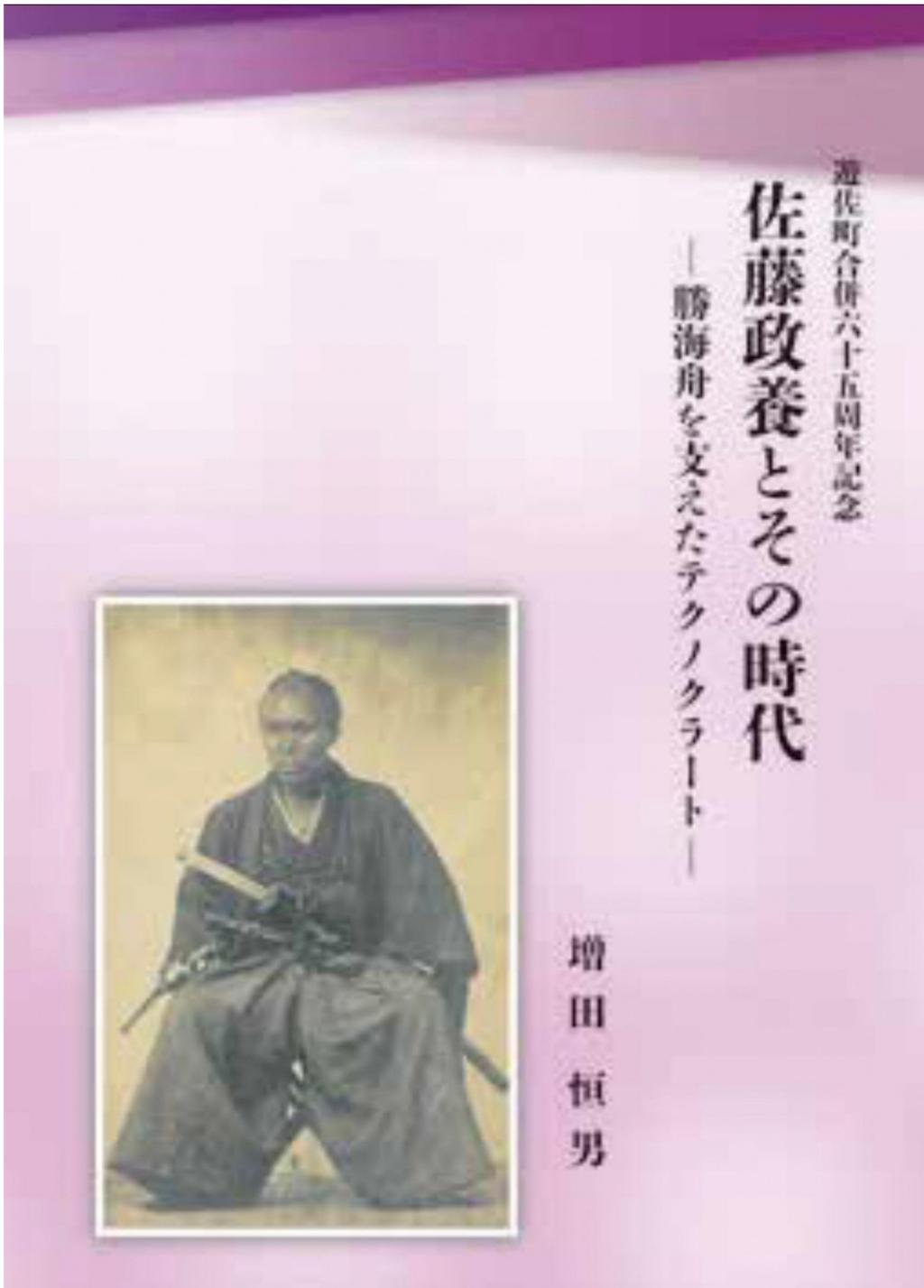
佐藤政養。洋学を学び技術者として近代日本の礎を創った人物である。

勝海舟に師事し、長崎で海軍伝習、砲台の設計・築造、神戸海軍操練所の運営など海舟を補佐して活躍した。明治新政府の下では鉄道事業に尽力した。本書は豊富な史料や写真・図版で政養を紹介している。

特筆すべき史料は海舟・政養の往復書簡で、緊迫する京都の政治状況を伝えると同時に海舟の人間性をも髣髴とさせ、両者の親密な関係性を想起させる。

また海舟から政養と坂本龍馬に宛てた2通の連名書簡も珍しく、貴重な史料である。

これまで政養は事実とかけ離れた作言がされてきた、政養には迷惑であったろう。政養が近代日本の成立に大きな功績を果たしたことは確かな事実である。適正な評価こそ政養自身が望んでいた事に違いない。



書籍はQRコードから申込可能です



申込締切

10月7日 (金)

申込方法

FAX・電話・Eメールのいずれかでお申込みください

【申込先】 佐藤政養先生顕彰会事務局 (遊佐町役場企画課企画係内)
TEL 0234-72-4523 FAX0234-72-3315 kikaku@town.yuza.lg.jp

申 込 書

氏名	連絡先	備考 (所属等)